

## 活用事例

- 橋長 : 3.00m 幅員 : 20.6m
- 橋梁形式 : RC溝橋 (BOXカルバート)
- 対象部位・部材 : 頂版、側壁
- 性能カタログ (又はNETIS) 番号 : BR020008-V0322
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

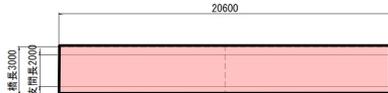
## 橋梁・支援技術



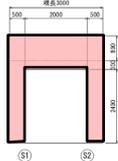
### 位置図及び側面図



平面図



側面図



### ○点検支援技術の効果

- ・小型のため、運搬が容易。
- ・損傷状況を自動判定するので誰にでも定量的に判定できる。
- ・コンパクトなスティックタイプのため規制が不要で安全性に優れる。

### ○打音検査と同等と判断した理由

- ・自動ハンマによる打撃を与え、その反射波(弾性波)を検出することで、コンクリート内部の「うき」や「剥離」等の欠損部の有無を判定できる。
- ・結果をLED表示できるため視覚的に損傷を把握できる。

### ○使用時の留意事項

- ・点検員が桁下にアクセスできること。
- ・点検員が進入できないほどの水辺でないこと。

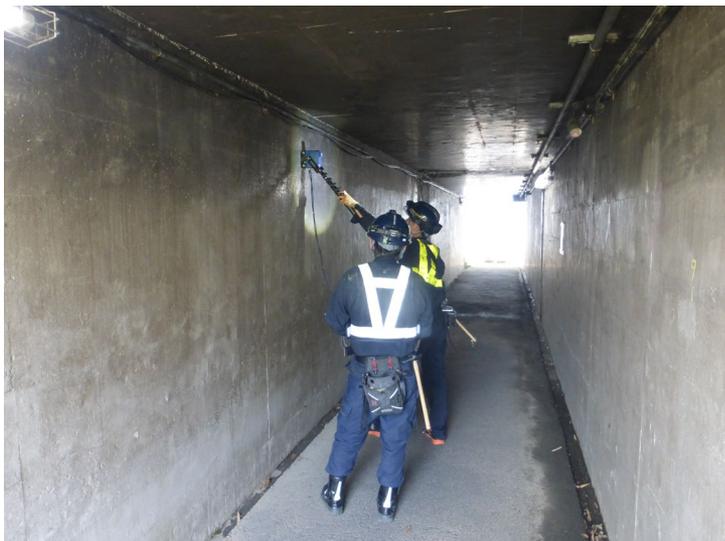


写真-1 点検状況(側壁)

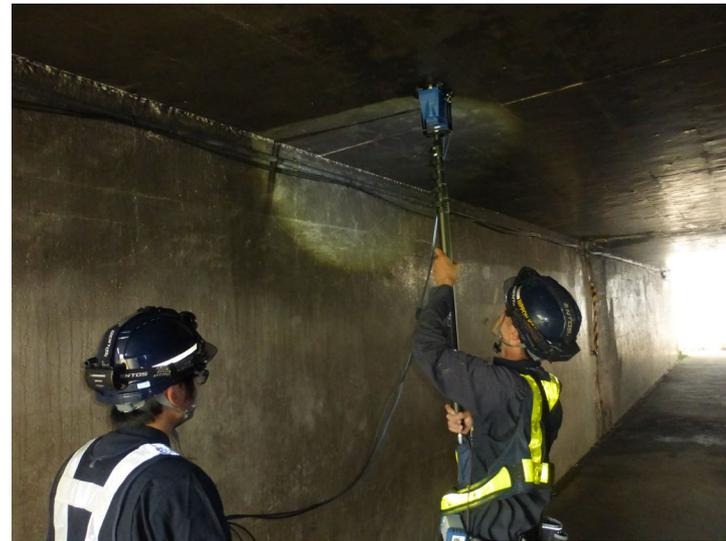


写真-2 点検状況(頂版)



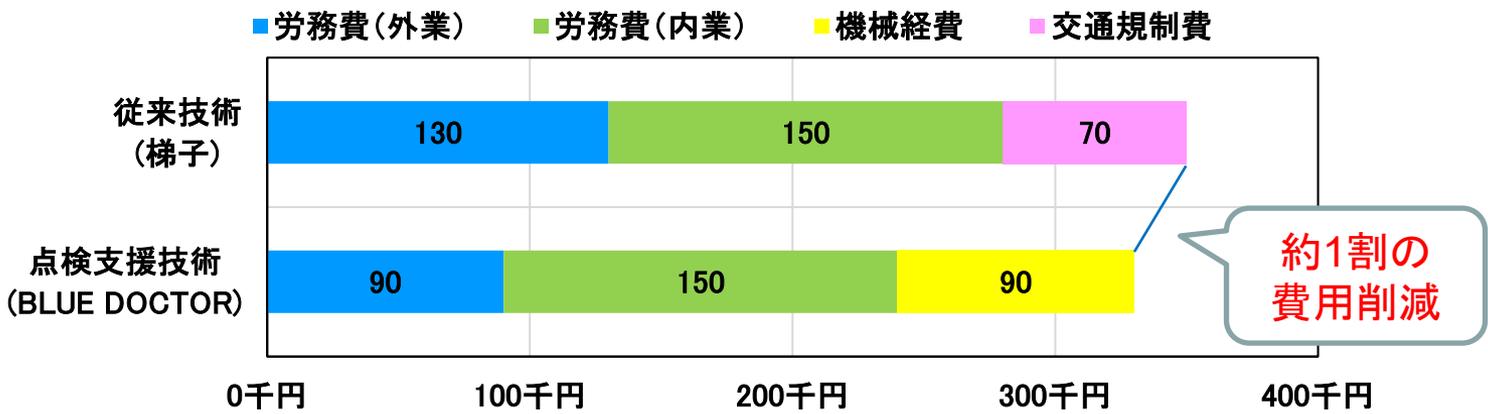
写真-3 うき検出(LED点灯)



写真-4 損傷箇所

## コスト比較

比較条件: 頂版・側壁を第三者被害予防措置点検した場合のコスト比較。  
 評価: 従来技術(梯子)と比べ、外業及び規制費のコストダウンに寄与。



約1割の費用削減

| 項目   | 従来技術         | 点検支援技術             |
|------|--------------|--------------------|
| 外業   | 点検ハンマによる打音検査 | BLUE DOCTORによる現地調査 |
| 内業   | 点検調書の作成      | 点検調書の作成            |
| 比較対象 | 梯子           | BLUE DOCTOR        |
| 合計金額 | 350千円        | 330千円              |
| 工程   | 1.3日         | 0.9日               |

○諸条件  
 橋面積: 61.8m<sup>2</sup>  
 桁下高: 約2.5m (GL~桁下)  
 天候: くもり  
 対象部位・部材: 頂版、側壁  
 進入路: 有り  
 点検時間: 9:00~16:00  
 たたき落とし作業: 有  
 積算: 業者見積  
 前回の健全度: - [初回点検のため]

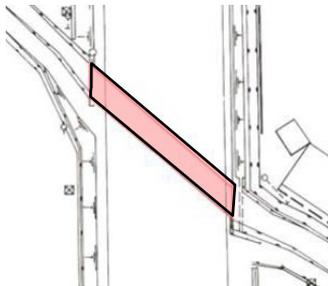
## 活用事例

- 橋長 : 3.42m 幅員 : 17.06m
  - 橋梁形式 : RC溝橋 (BOXカルバート) 1層1連
  - 対象部位・部材 : 頂版、側壁
  - 性能カタログ (又はNETIS) 番号 : BR020008-V0322
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

## 橋梁・支援技術



## 位置図及び側面図



## ○点検支援技術の効果

- ・小型のため、運搬が容易。
- ・損傷状況を自動判定するので誰にでも定量的に判定できる。
- ・コンパクトなスティックタイプのため規制が不要で安全性に優れる。

## ○打音検査と同等と判断した理由

- ・自動ハンマによる打撃を与え、その反射波 (弾性波) を検出することで、コンクリート内部の「うき」や「剥離」等の欠損部の有無を判定できる。
- ・結果をLED表示できるため視覚的に損傷を把握できる。

## ○使用時の留意事項

- ・点検員が桁下にアクセスできること。
- ・点検員が進入できないほどの水辺でないこと。



写真-1 点検状況(側壁)



写真-2 点検状況(頂版)



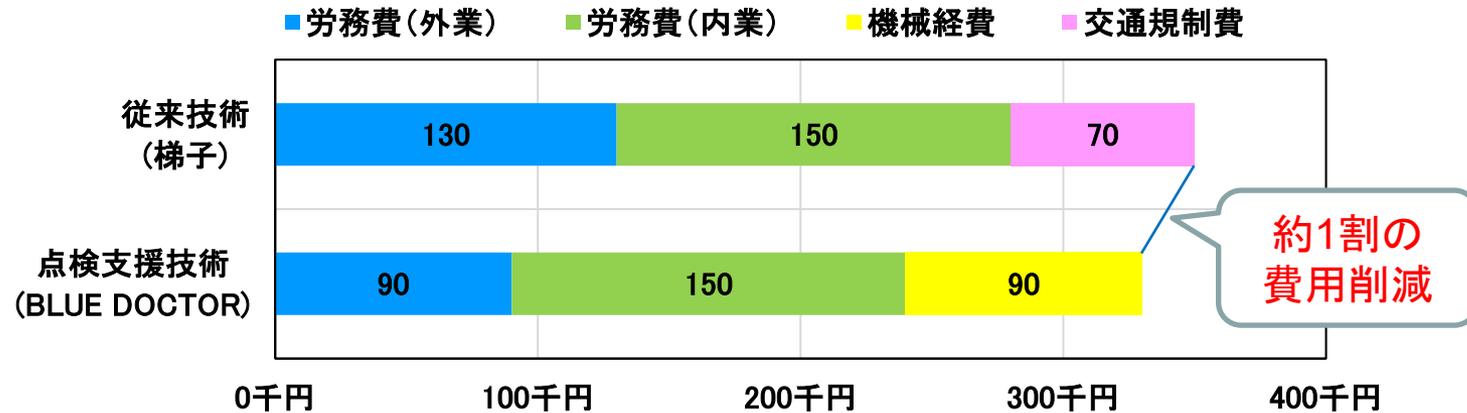
写真-3 LED点灯状況



写真-4 健全判定(LED緑)

## コスト比較

比較条件: 頂版・側壁を第三者被害予防措置点検した場合のコスト比較。  
 評価: 従来技術(梯子)と比べ、外業及び規制費のコストダウンに寄与。



| 項目   | 従来技術         | 点検支援技術             |
|------|--------------|--------------------|
| 外業   | 点検ハンマによる打音検査 | BLUE DOCTORによる現地調査 |
| 内業   | 点検調書の作成      | 点検調書の作成            |
| 比較対象 | 梯子           | BLUE DOCTOR        |
| 合計金額 | 350千円        | 330千円              |
| 工程   | 1.3日         | 0.9日               |

### ○諸条件

橋面積: 58.14m<sup>2</sup>  
 桁下高: 約2.0m (GL~桁下)  
 天候: くもり  
 対象部位・部材: 頂版、側壁  
 進入路: 有り  
 点検時間: 9:00~16:00  
 たたき落とし作業: 有  
 積算: 業者見積  
 前回の健全度: I

## 活用事例

- 橋長 : 2.70m 幅員 : 29.8m
- 橋梁形式 : RC溝橋 (BOXカルバート)
- 対象部位・部材 : 頂版、側壁
- 性能カタログ (又はNETIS) 番号 : BR020008-V0322
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

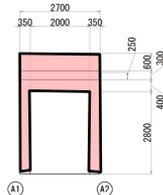
## 橋梁・支援技術



### 位置図及び側面図



平面図



### ○点検支援技術の効果

- ・小型のため、運搬が容易。
- ・損傷状況を自動判定するので誰にでも定量的に判定できる。
- ・コンパクトなスティックタイプのため規制が不要で安全性に優れる。

### ○打音検査と同等と判断した理由

- ・自動ハンマによる打撃を与え、その反射波(弾性波)を検出することで、コンクリート内部の「うき」や「剥離」等の欠損部の有無を判定できる。
- ・結果をLED表示できるため視覚的に損傷を把握できる。

### ○使用時の留意事項

- ・点検員が桁下にアクセスできること。
- ・点検員が進入できないほどの水辺でないこと。

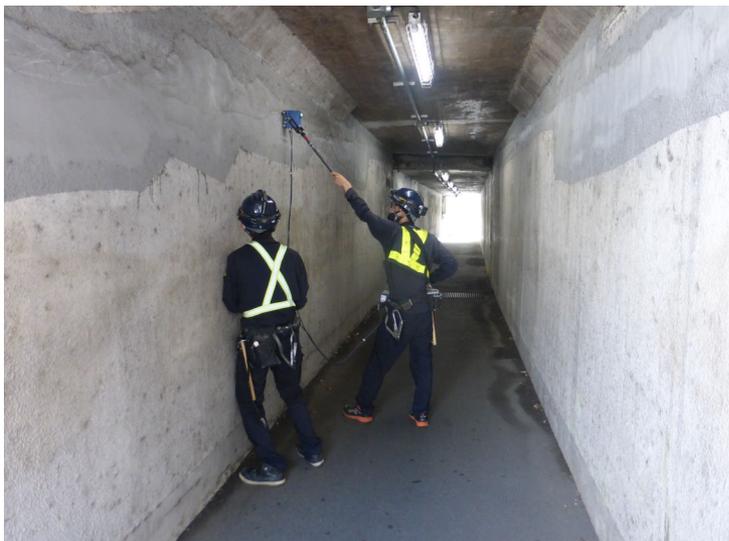


写真-1 点検状況(側壁)



写真-2 点検状況(頂版)



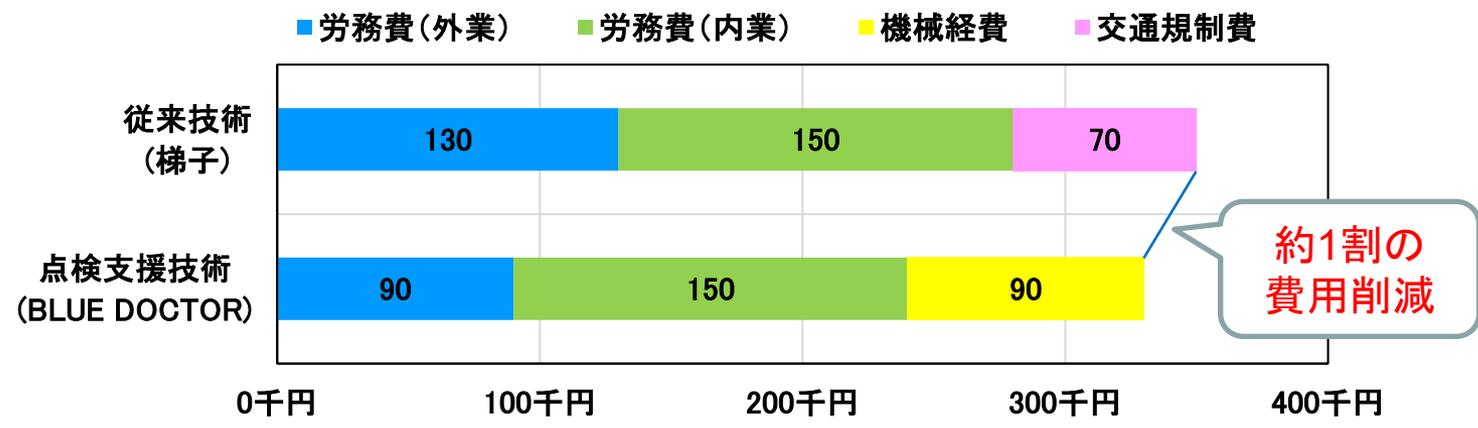
写真-3 うき検出(LED点灯)



写真-4 損傷箇所

## コスト比較

比較条件: 頂版・側壁を第三者被害予防措置点検した場合のコスト比較。  
 評価: 従来技術(梯子)と比べ、外業及び規制費のコストダウンに寄与。



| 項目   | 従来技術         | 点検支援技術             |
|------|--------------|--------------------|
| 外業   | 点検ハンマによる打音検査 | BLUE DOCTORによる現地調査 |
| 内業   | 点検調書の作成      | 点検調書の作成            |
| 比較対象 | 梯子           | BLUE DOCTOR        |
| 合計金額 | 350千円        | 330千円              |
| 工程   | 1.3日         | 0.9日               |

○諸条件  
 橋面積: 80.46m<sup>2</sup>  
 桁下高: 約3.2m (GL~桁下)  
 天候: くもり  
 対象部位・部材: 頂版、側壁  
 進入路: 有り  
 点検時間: 9:00~16:00  
 たたき落とし作業: 有  
 積算: 業者見積  
 前回の健全度: - [初回点検のため]

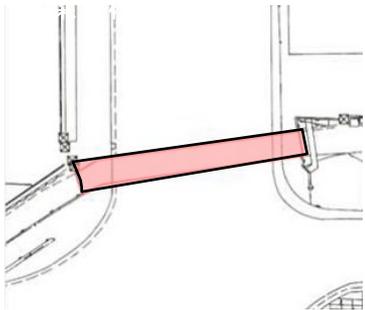
## 活用事例

- 橋長 : 3.14m 幅員 : 29.9m
- 橋梁形式 : RC溝橋 (BOXカルバート) 1層1連
- 対象部位・部材 : 頂版、側壁
- 性能カタログ (又はNETIS) 番号 : BR020008-V0322
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

## 橋梁・支援技術



## 位置図及び側面図



## ○点検支援技術の効果

- ・小型のため、運搬が容易。
- ・損傷状況を自動判定するので誰にでも定量的に判定できる。
- ・コンパクトなスティックタイプのため規制が不要で安全性に優れる。

## ○打音検査と同等と判断した理由

- ・自動ハンマによる打撃を与え、その反射波 (弾性波) を検出することで、コンクリート内部の「うき」や「剥離」等の欠損部の有無を判定できる。
- ・結果をLED表示できるため視覚的に損傷を把握できる。

## ○使用時の留意事項

- ・点検員が桁下にアクセスできること。
- ・点検員が進入できないほどの水辺でないこと。



写真-1 点検状況[ハンチ部]



写真-2 健全[LED点灯]

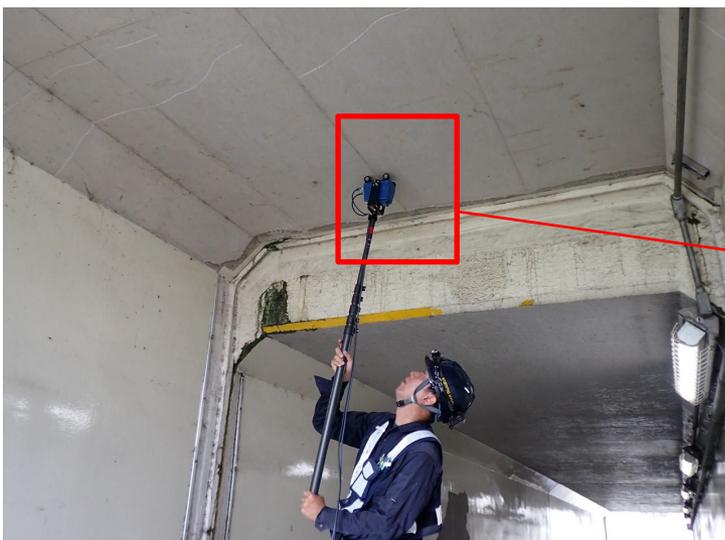


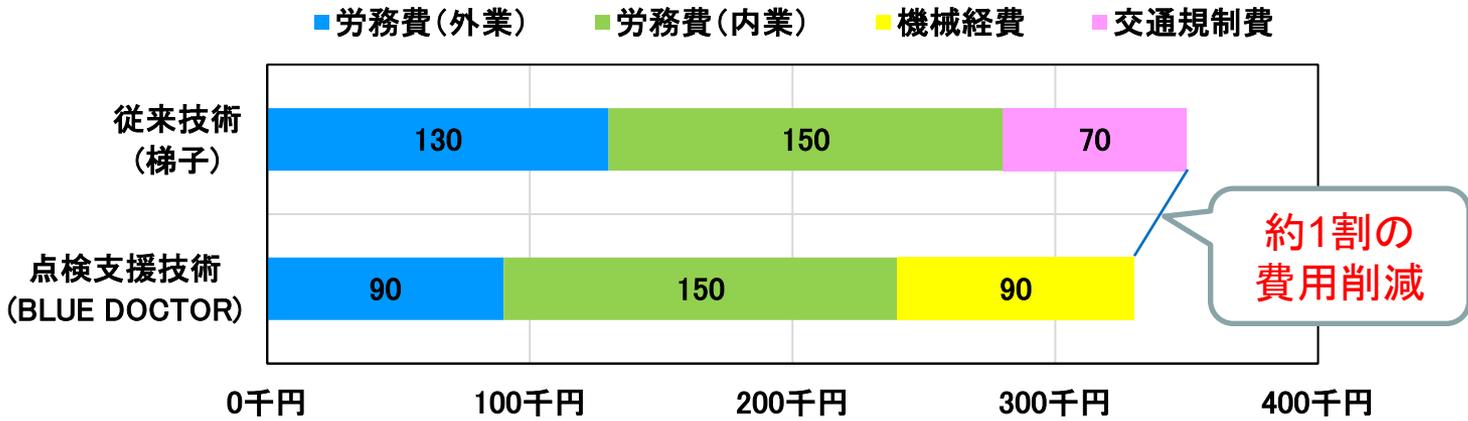
写真-3 点検状況[頂版]



写真-4 健全[LED点灯]

コスト比較

比較条件: 頂版・側壁を第三者被害予防措置点検した場合のコスト比較。  
 評価: 従来技術(梯子)と比べ、外業及び規制費のコストダウンに寄与。



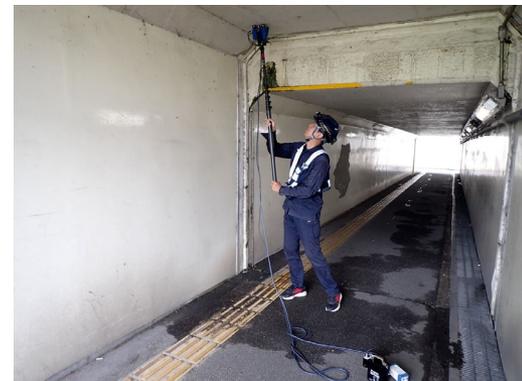
| 項目   | 従来技術         | 点検支援技術             |
|------|--------------|--------------------|
| 外業   | 点検ハンマによる打音検査 | BLUE DOCTORによる現地調査 |
| 内業   | 点検調書の作成      | 点検調書の作成            |
| 比較対象 | 梯子           | BLUE DOCTOR        |
| 合計金額 | 350千円        | 330千円              |
| 工程   | 1.3日         | 0.9日               |

○諸条件  
 橋面積: 93.89m<sup>2</sup>  
 桁下高: 約1.8m (GL~桁下)  
 天候: くもり  
 対象部位・部材: 頂版、側壁  
 進入路: 有り  
 点検時間: 9:00~16:00  
 たたき落とし作業: 有  
 積算: 業者見積  
 前回の健全度: I

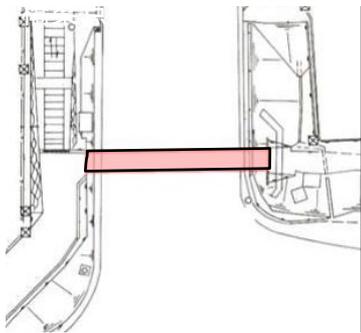
## 活用事例

- 橋長 : 3.10m 幅員 : 29.1m
- 橋梁形式 : RC溝橋 (BOXカルバート) 1層1連
- 対象部位・部材 : 頂版、側壁
- 性能カタログ (又はNETIS) 番号 : BR020008-V0322
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

## 橋梁・支援技術



### 位置図及び側面図



### ○点検支援技術の効果

- ・小型のため、運搬が容易。
- ・損傷状況を自動判定するので誰にでも定量的に判定できる。
- ・コンパクトなスティックタイプのため規制が不要で安全性に優れる。

### ○打音検査と同等と判断した理由

- ・自動ハンマによる打撃を与え、その反射波 (弾性波) を検出することで、コンクリート内部の「うき」や「剥離」等の欠損部の有無を判定できる。
- ・結果をLED表示できるため視覚的に損傷を把握できる。

### ○使用時の留意事項

- ・点検員が桁下にアクセスできること。
- ・点検員が進入できないほどの水辺でないこと。

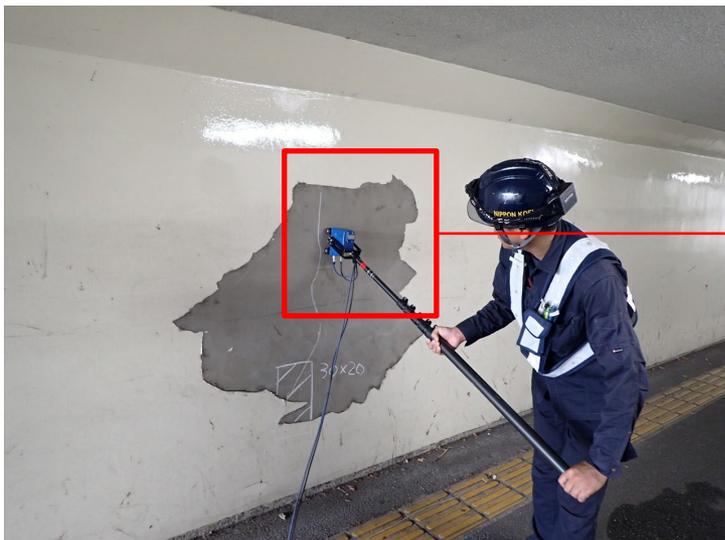


写真-1 点検状況(側壁)

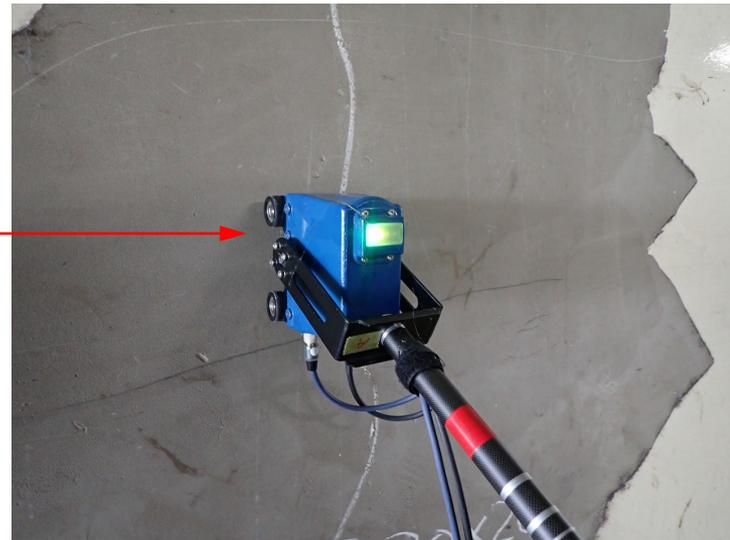


写真-2 健全判定(LED緑)

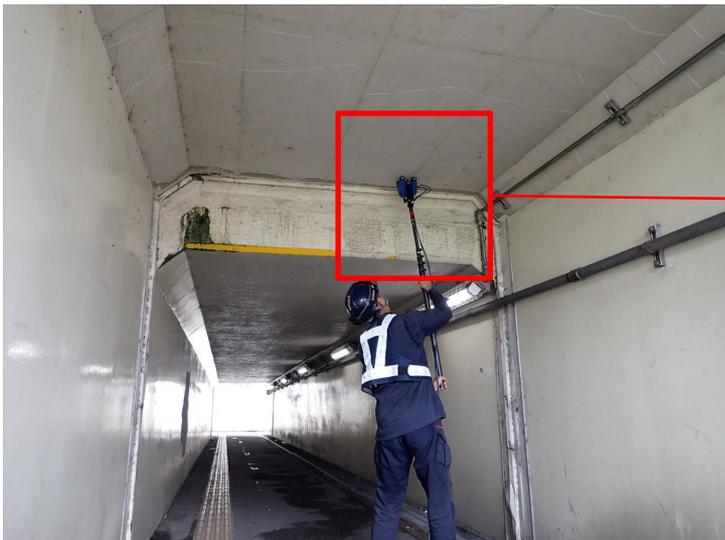


写真-3 点検状況(頂版)

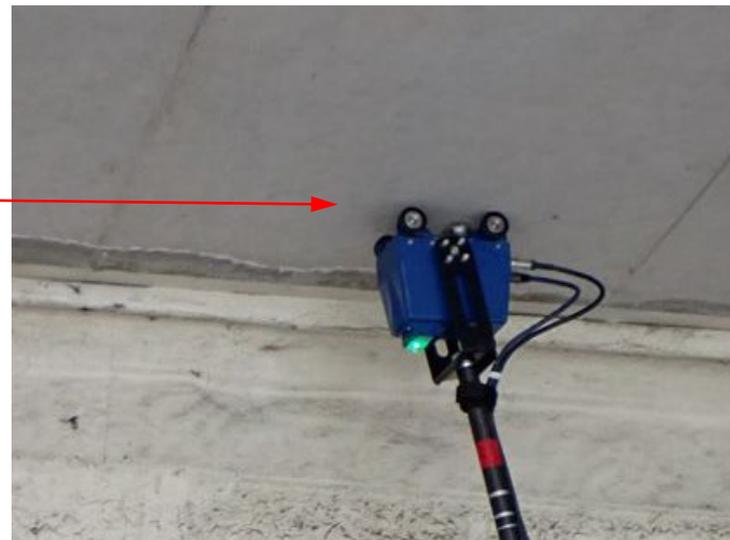
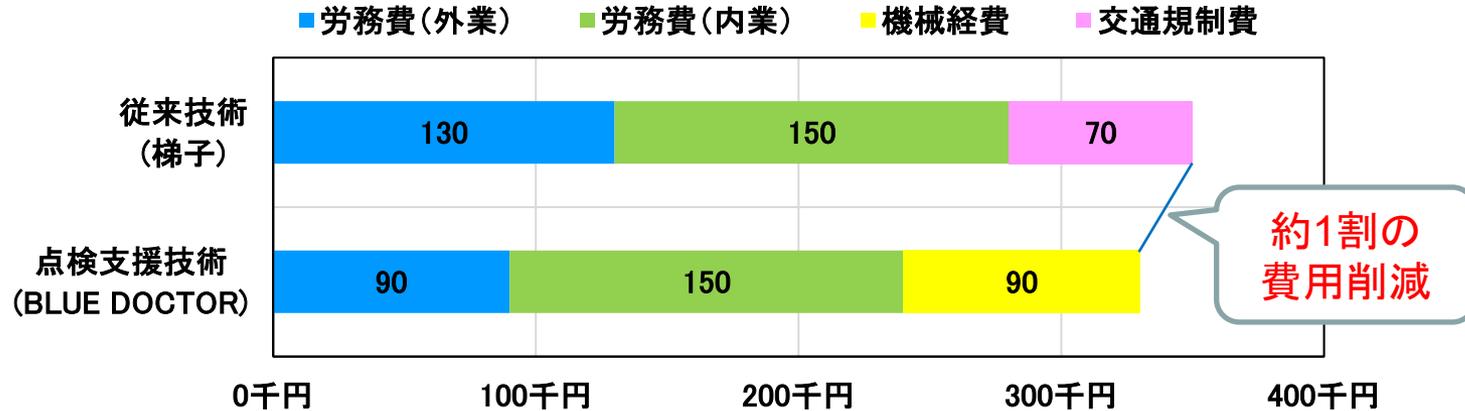


写真-4 健全判定(LED緑)

## コスト比較

比較条件: 頂版・側壁を第三者被害予防措置点検した場合のコスト比較。  
 評価: 従来技術(梯子)と比べ、外業及び規制費のコストダウンに寄与。



| 項目   | 従来技術         | 点検支援技術             |
|------|--------------|--------------------|
| 外業   | 点検ハンマによる打音検査 | BLUE DOCTORによる現地調査 |
| 内業   | 点検調書の作成      | 点検調書の作成            |
| 比較対象 | 梯子           | BLUE DOCTOR        |
| 合計金額 | 350千円        | 330千円              |
| 工程   | 1.3日         | 0.9日               |

### ○諸条件

橋面積: 90.21m<sup>2</sup>  
 桁下高: 約2.5m (GL~桁下)  
 天候: くもり  
 対象部位・部材: 頂版、側壁  
 進入路: 有り  
 点検時間: 9:00~16:00  
 たたき落とし作業: 有  
 積算: 業者見積  
 前回の健全度: I

## 活用事例

- 橋長 : 3.05m 幅員 : 24.3m
- 橋梁形式 : RC溝橋 (BOXカルバート)
- 対象部位・部材 : 頂版、側壁
- 性能カタログ (又はNETIS) 番号 : BR020008-V0322
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

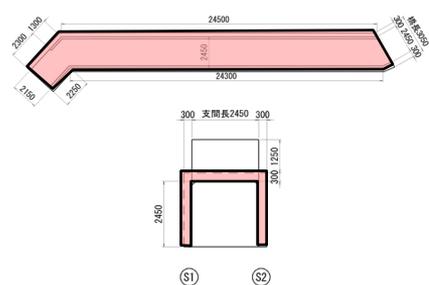
## 橋梁・支援技術



### 位置図及び側面図



平面図



### ○点検支援技術の効果

- ・小型のため、運搬が容易。
- ・損傷状況を自動判定するので誰にでも定量的に判定できる。
- ・コンパクトなスティックタイプのため規制が不要で安全性に優れる。

### ○打音検査と同等と判断した理由

- ・自動ハンマによる打撃を与え、その反射波 (弾性波) を検出することで、コンクリート内部の「うき」や「剥離」等の欠損部の有無を判定できる。
- ・結果をLED表示できるため視覚的に損傷を把握できる。

### ○使用時の留意事項

- ・点検員が桁下にアクセスできること。
- ・点検員が進入できないほどの水辺でないこと。



写真-1 点検状況(側壁)



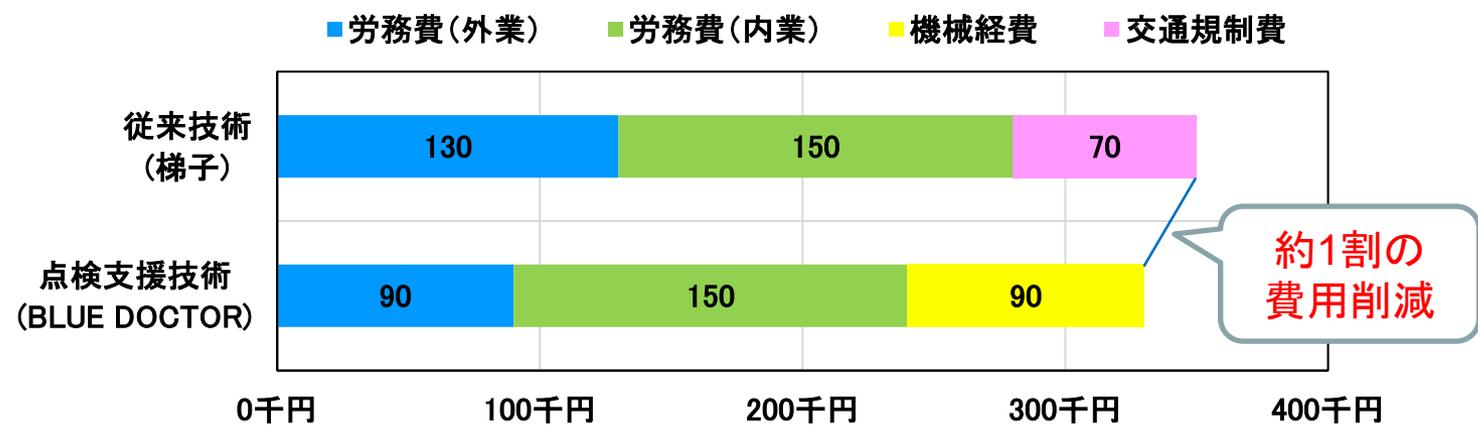
写真-2 健全[LED点灯]



写真-3 点検状況(頂版)

## コスト比較

比較条件: 頂版・側壁を第三者被害予防措置点検した場合のコスト比較。  
 評価: 従来技術(梯子)と比べ、外業及び規制費のコストダウンに寄与。



| 項目   | 従来技術         | 点検支援技術             |
|------|--------------|--------------------|
| 外業   | 点検ハンマによる打音検査 | BLUE DOCTORによる現地調査 |
| 内業   | 点検調書の作成      | 点検調書の作成            |
| 比較対象 | 梯子           | BLUE DOCTOR        |
| 合計金額 | 350千円        | 330千円              |
| 工程   | 1.3日         | 0.9日               |

○諸条件  
 橋面積: 74.12m<sup>2</sup>  
 桁下高: 約2.5m (GL~桁下)  
 天候: くもり  
 対象部位・部材: 頂版、側壁  
 進入路: 有り  
 点検時間: 9:00~16:00  
 たたき落とし作業: 有  
 積算: 業者見積  
 前回の健全度: - [初回点検のため]

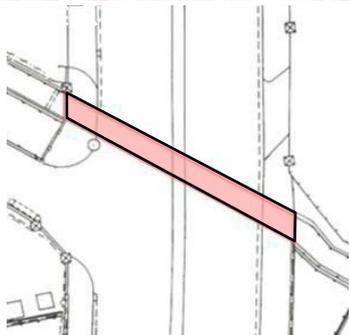
## 活用事例

- 橋長 : 8.83m 幅員 : 25.70m
  - 橋梁形式 : RC溝橋(BOXカルバート)1層1連
  - 対象部位・部材 : 頂版、側壁
  - 性能カタログ(又はNETIS)番号 : BR020008-V0322
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

## 橋梁・支援技術



## 位置図及び側面図



## ○点検支援技術の効果

- ・小型のため、運搬が容易。
- ・損傷状況を自動判定するので誰にでも定量的に判定できる。
- ・コンパクトなスティックタイプのため規制が不要で安全性に優れる。

## ○打音検査と同等と判断した理由

- ・自動ハンマによる打撃を与え、その反射波(弾性波)を検出することで、コンクリート内部の「うき」や「剥離」等の欠損部の有無を判定できる。
- ・結果をLED表示できるため視覚的に損傷を把握できる。

## ○使用時の留意事項

- ・点検員が桁下にアクセスできること。
- ・点検員が進入できないほどの水辺でないこと。



写真-1 点検状況



写真-2 損傷確認



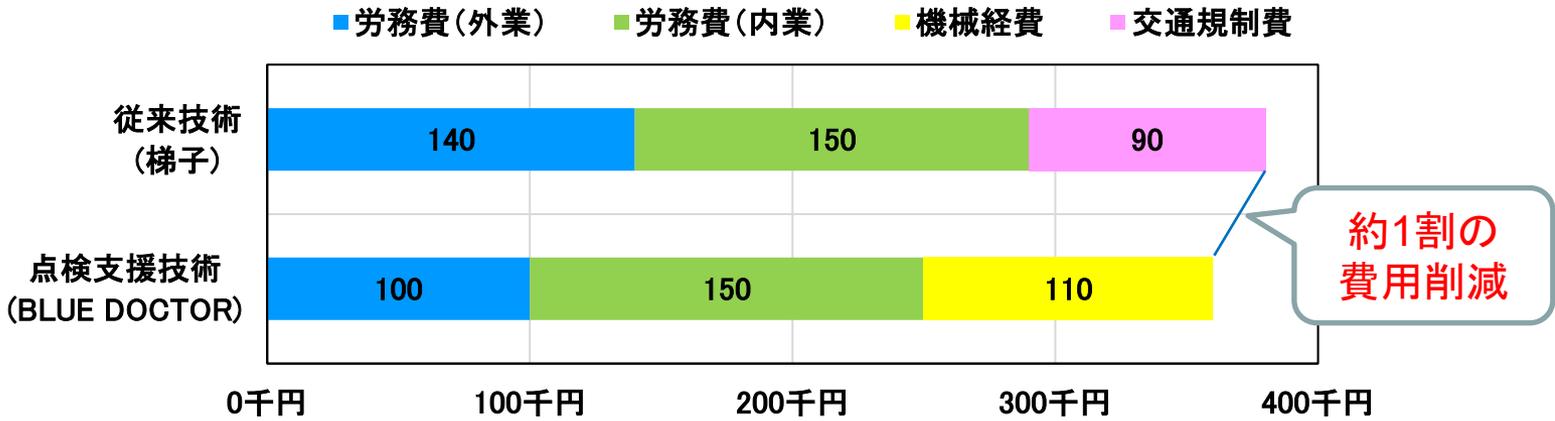
写真-3 うき検出[LED点灯]



写真-4 損傷箇所

コスト比較

比較条件: 頂版・側壁を第三者被害予防措置点検した場合のコスト比較。  
 評価: 従来技術(梯子)と比べ、外業及び規制費のコストダウンに寄与。



| 項目   | 従来技術         | 点検支援技術             |
|------|--------------|--------------------|
| 外業   | 点検ハンマによる打音検査 | BLUE DOCTORによる現地調査 |
| 内業   | 点検調書の作成      | 点検調書の作成            |
| 比較対象 | 梯子           | BLUE DOCTOR        |
| 合計金額 | 380千円        | 360千円              |
| 工程   | 1.6日         | 1.1日               |

○諸条件  
 橋面積: 226.9m<sup>2</sup>  
 桁下高: 約2.5m (GL~桁下)  
 天候: くもり  
 対象部位・部材: 頂版、側壁  
 進入路: 有り  
 点検時間: 9:00~17:00  
 たたき落とし作業: 有  
 積算: 業者見積  
 前回の健全度: II